

研修体験談

「地域医療研修 総括」

山口県立総合医療センター卒後臨床研修
初期研修医2年目 合田 晃平

掲載日:令和5年10月22日



地域医療研修 総括



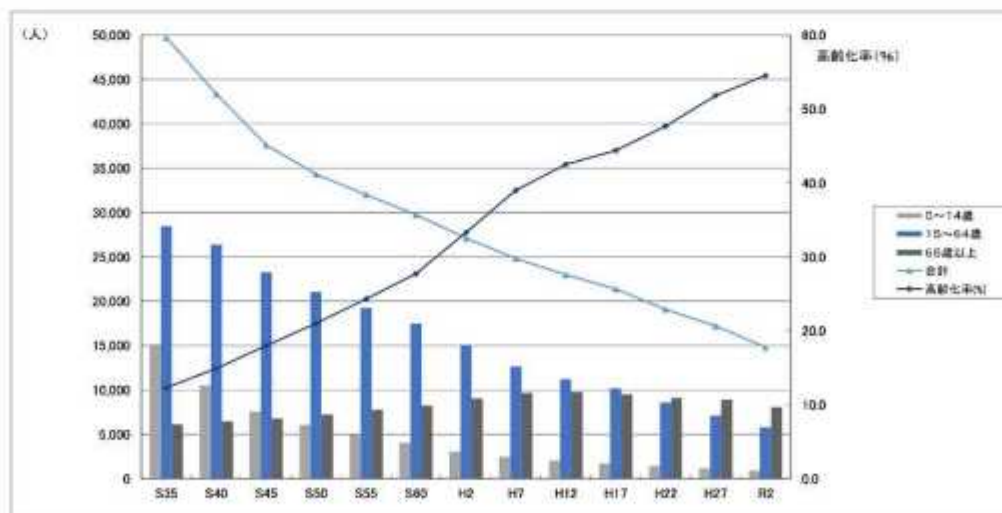
山口県立総合医療センター 研修医2年目
合田 晃平
2023年10月19日(木)

町立大島病院と山口県立総合医療センターの比較

町立大島病院		県立総合医療センター
99 (一般39、療養60)	病床数	504 (一般490、感染症14)
10	診療科数	29
72.7	1日平均入院患者	353.3
129.2	1日平均外来患者	820.9
180(4)	職員数(うち医師数)	700(150)



周防大島町人口推移



高齢者単身世帯：28.5% 高齢者夫婦世帯：24.1%

4週間の研修の内容

- 総合診療科外来・入院対応
- 胃瘻交換・関節注射など
- 訪問診療・看護・リハビリテーション見学
- リハビリカンファレンス
- 地域包括ケア会議
- 褥瘡回診
- 介護保険制度説明・福祉用具体験
- 職場巡視・安全衛生委員会(大島商船)
- 健康教室(10月20日)



医局



新患外来診察室



訪問診療へ



訪問診療車両



福祉用具体験



補助機付き歩行器



職場巡視



職場巡視(照度測定)

病院食・栄養管理



印象に残った事例

訪問診療・看護・リハビリテーションの見学

【事例】

- 高齢男性(患者)と妻の2人暮らし世帯
- 患者は多発脳梗塞による廃用が進行している(要介護1)
- 患者の性格としては意志が強い
- 妻との口喧嘩から救急要請をして当院に入院したこともある
- 以前の職業はみかん農家のため山の急斜面に住んでいるが自家用車はない。
- 現在は訪問診療・看護・リハビリを施行中

<うまくいっていること>

- 頑固な患者本人を説得して自宅でのリハビリを継続できている。
- 杖での室内歩行も安定し、自身で筋トレを考案し実践している。
- デイサービスへの通所(まずは週に1回)が前向きに捉えられている

<改善が必要なこと>

- 夫の介護による妻の身体的・精神的疲労が蓄積している
- 薬に対する本人・妻のこだわり(思い込み)があり、内服調整が進まない

<感情的には>

- 各医療スタッフの介入により、廃用進行の予防ができているが、同居の妻の負担をさらに軽減したい
- 薬に対する不信感を払拭したい

<Next Step>

- 本人・妻の思いを定期的に確認する
- デイサービス利用回数を増やし妻の負担を減らす
- スタッフ内で情報・意志を共有して訪問時に情報提供を行う

地域医療研修全体の感想

- 各専門外来ではなく総合診療科外来として幅広い領域の診療の経験ができた。
- 看護師・リハビリ士をはじめ、他職種の業務内容を見学できた。
- 地域包括ケアシステムの実際の現場を見学できた。
- 超高齢社会の医療・介護現場を見学できた。

4週間大変お世話になりました！

